

◆単元を見通して言語活動を位置付ける 「単元構想、探究の学習過程及び言語活動関連図」
第3学年 「アンニョンハセヨ! 韓国・朝鮮」

本市で「総合」の単元において作成されている単元構想図に、「学習活動」「探究の学習過程」「言語活動」「思考操作」「他教科等との関連」の項目を新たに加えて示す「単元構想、探究の学習過程及び言語活動関連図」を提案します。

「単元構想、探究の学習過程及び言語活動関連図」を作成することで、指導者は、次のことが意識できます。

- ① 探究的な学習になっているか。また、いま、行っている学習活動が探究の学習過程のどの過程なのか。
- ② 単元を見通して、なぜ今この言語活動をしているのか。
- ③ そのとき、どのような思考操作を行うのか。
- ④ 他教科等との関連はどうなっているのか。

単元を構想するときのポイント

・付けたい力
・単元の目標
・学習内容を
を確認する。

既習内容
（「国際理解」「韓国・朝鮮」について）
を確認する。

単元を構想する

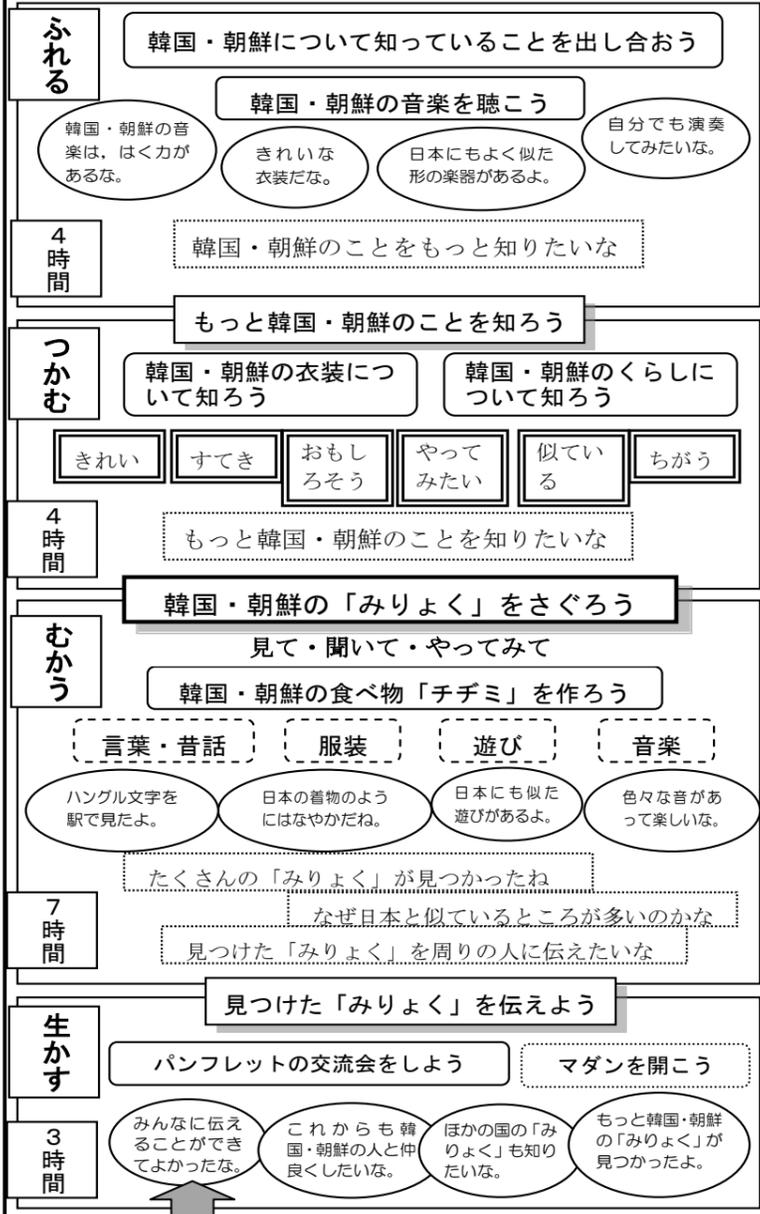
《留意点1》
探究の学習過程「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の四つを経ること

《留意点2》
協同的な学びを設定すること
他者（友だち・コミュニティリーダーなど）と協力して学ぶ。

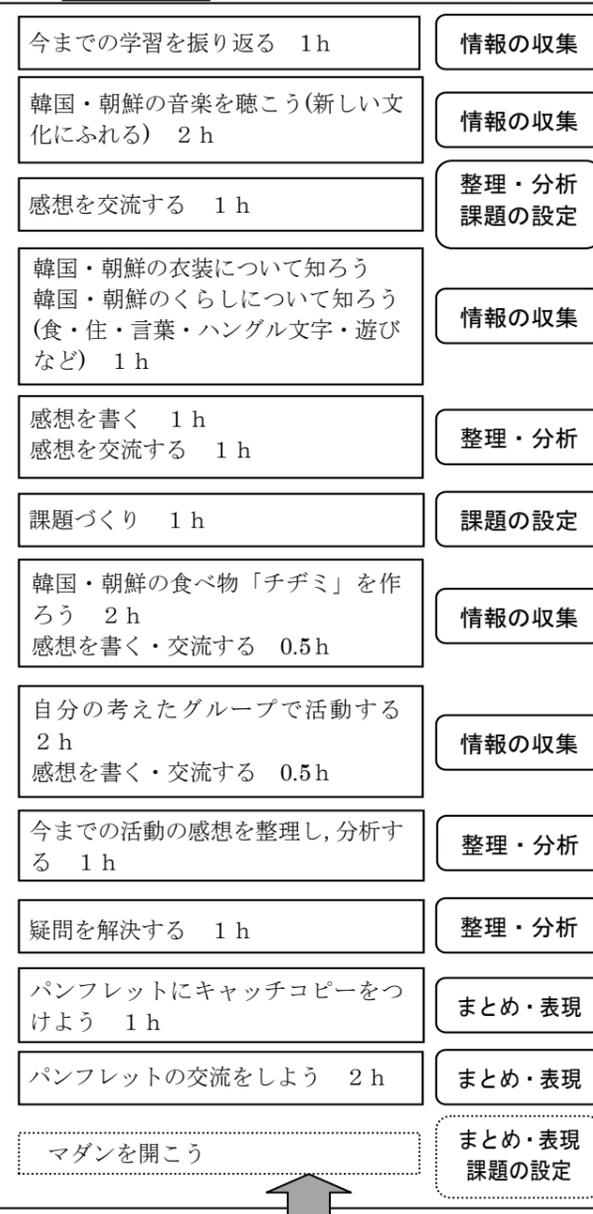
《留意点3》
体験活動を設定すること
・見る、聞く、やってみる。
・意図的に体験を重ねる。

《留意点4》
探究の学習過程に、言語活動を位置付けること

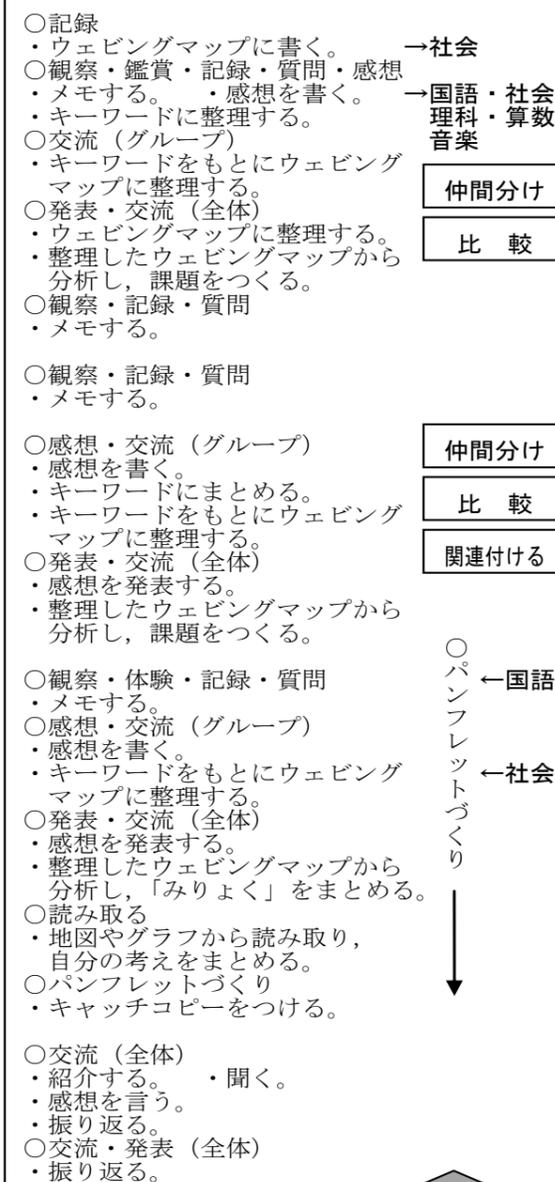
第3学年 アンニョンハセヨ! 韓国・朝鮮 (18時間)
単元構想図



学習活動 探究の学習過程



考えられる言語活動(○・)思考操作(□)及び各教科等との関連(←)



「アンニョンハセヨ!韓国・朝鮮」の言語活動のポイント

○単元を貫く言語活動
（「まとめ・表現」）
「パンフレットに表して交流する」を位置付けました。
◆第3学年 社会科
「商店のはたらき」と並行。
（パンフレットづくりについては、資料7 パンフレットを参照）

○「整理・分析」では、ウェビングマップを使って、自分の考え、友だちの考えを整理する活動を位置付けました。
（資料6 ウェビングマップ「総合」・言語活動カードを参照）

◆ウェビングマップを使うことで・・・
仲間分け 同じカテゴリに分類する。
比較 ほかの活動で発見したことと比べて、似ているところ、違うところを見つける。
関連付ける 二つの活動から共通点やつながりを見つける。

※この活動を、他教科等でも生かすようにしました。

○グループ交流・全体交流を取り入れることが大事です。

